

いわて女性デジタル人材育成プロジェクト事業【岩手県】

個別事業費	14,535 千円
交付金額	10,901 千円

地域の実情と課題

- ◆「女性版骨太の方針2024」において、女性の所得向上・経済的自立が重点事項として挙げられ、女性デジタル人材育成プランに基づき、就労に直結するデジタルスキルの習得・就労支援に3年集中的に推進するとされており、本県においても、女性の長期的な経済的自立やキャリア形成を目指した女性デジタル人材の育成が必要
- ◆本県のデジタルスキル習得に関する職業訓練においては、在職者訓練は男性の受講が多い傾向にあり、離職者訓練においても、全体的な受講は女性が多いものの、IT分野の講座への受講希望は少ない状況にあり、即戦力として活躍できるスキルを身に付けた女性デジタル人材の育成・就労支援を行う必要がある

事業の特徴

デジタル分野で活躍できるデジタルスキルを身に付けた「いわて女性デジタル人材」の育成から就労までを一貫して支援。

- ① 学習プログラムの実施
 - eラーニング及び対面での受講により習得可能かつ就労へつながるデジタルスキル習得のための研修プログラムを実施
- ② 就労マッチング
 - ①と同時並行で、協力企業が発注する実案件を体験するクライアントワーク等を活用した県内外の企業とのマッチングを実施

事業の効果

- ◆令和6年度は定員30名に対して120名、令和7年度においても定員を50名に拡大して実施したものの215名の応募があり、改めてニーズの高い事業であることが確認できた。
- ◆スキル習得研修とクライアントワークによる実務体験を組み合わせることで、受講生のスキル及び就労イメージと企業ニーズをしっかりと結び付け、より多くの受講生のデジタル分野への就労を実現している(4月末時点:25名(うちデジタル分野の就労23名))。

目的・目標

今後ますます人材需要が見込まれるデジタル分野で即戦力として活躍できるスキルを身に付けた「いわて女性デジタル人材」の育成・就労支援を行い、多様で柔軟な働き方の推進及び女性の所得向上を図る。

- ◆講座受講者のデジタルリテラシー向上率
目標 70% (実績 100%)
- ◆講座修了者の就労率
目標 60%
(※就労マッチングの成果が出るのはR8年度以降の見込みだが、現時点では実績46%)

連携団体

- ◆県商工労働観光部、岩手県地域職業能力開発促進協議会
- ◆いわて女性活躍認定企業
- ◆いわて女性の活躍促進連携会議構成団体(20団体)
岩手県商工会議所連合会、岩手県中小企業団体中央会、岩手県商工会連合会、一般社団法人岩手経済同友会、一般社団法人岩手県経営者協会、岩手県中小企業家同友会、一般社団法人岩手県銀行協会、岩手県信用金庫協会、岩手県農業協同組合中央会、岩手県漁業協同組合連合会、一般社団法人岩手県農業会議、岩手県森林組合連合会、一般社団法人岩手県建設産業団体連合会、岩手県消防長会、認定NPO法人いわて子育てネット、特定非営利活動法人参画プランニング・いわて、岩手労働局、岩手県男女共同参画センター、ジョブカフェいわて、岩手県

今後の課題

- ◆令和8年度事業の実績と成果を踏まえ、女性の所得向上や多様な働き方の実現に向けた取組を継続

事業の概要

1 学習プログラム

eラーニング及び対面での受講により習得可能かつ就労へつながるデジタルスキル習得のための研修プログラムを実施

- ①対象者
岩手県在住の女性(18歳以上)
- ②学習プログラム
 - ・グラフィックデザイナーコース(定員10名)
 - ・WEBデザイナーコース(定員20名)
 - ・ITスキル人材コース(定員20名)

※定員50名に対して215名の応募があり、学習・就労意欲やコミュニケーション能力などを踏まえ、就労につながりやすい方を面接の上で選考。
- ③受講期間
令和7年9月1日～12月26日(eラーニング及び対面授業)

自分らしい働き方を、岩手で見つけよう！
いって女性デジタル人材育成プロジェクト

安心して学べる4つのポイント

各コースの概要

デジタルハリウッド株式会社

2 就労マッチング

1と同時並行で、協力企業が発注する実案件を体験するクライアントワーク等を活用した県内外の企業とのマッチングを実施

- ①就労マッチングの実施
スキル研修とクライアントワークによる実務体験を組み合わせることで、受講生のスキル及び就労イメージと企業ニーズを結び付け、より多くの受講生が就労につながるよう展開
- ②最終成果発表会の開催
受講生と県内企業とのマッチングイベントとして最終成果発表会を開催し、マッチングの促進を図り、デジタル分野への就労を実現(4月末時点:25名(うちデジタル分野の就労23名))※就労マッチングの成果が出るのはR8年度以降の見込み



最終成果発表会の様子
(R8.1.31)